

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ヒラソル				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・利用者様の特性に応じてパーテーションを使用し、空間を作っている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・利用者様の人数に応じた適切な人数を配置している ・利用者様が少ない時は、配置を調整している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	10		・パーテーションを使用して環境調整を行っている ・障害特性に応じた席の配置や視覚支援など構造化を図っている	利用者様の特性に応じた環境設定について、視覚支援や空間調整のさらなる工夫が必要であるため、改善に取り組んでいきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また	9	1	・日々清掃を行い、月に一度の清掃日では細かい清掃を行っている ・利用者様の落ち着けるタオルケットなど決められた場所へ保管されていない	備品の管理について不十分な点があるため、管理場所の明確化と職員間での周知・徹底に取り組んでいきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	10		・専門的支援を個別の部屋で行っている ・クールダウンが必要な際、個別の部屋に移動できる仕組みになっている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に	10		・毎月の目標設定と振り返りを行っている	目標が未達成の月もあったため、振り返りを活かしながら具体的な取り組みの見直しを行っていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設	10			評価表で把握した保護者の方の意見について、業務改善への反映をより進めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善	10			職員の意見を支援に取り入れていますが、より効果的に活用できるよう業務改善につなげていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい	10				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等	10		・毎月、研修の機会が確保されている。 ・毎月の研修や隔月での児童部門研修を受講している ・朝の研修や全体研修、放デイ研修など様々な研修がある	研修機会は確保されていますが、学んだ内容の共有や支援への活用をさらに進めていきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・ホームページ上で公表している	支援プログラムは作成・公表していますが、内容の充実やより分かりやすい発信に向けて改善していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の	10			アセスメントや計画作成は行っていますが、より客観的な分析や分かりやすい計画作成に取り組んでいきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理	10			計画作成において職員間での検討は行っていますが、共通理解のさらなる強化に取り組んでいきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支	10			今後も計画に沿った支援に取り組んでいきます。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーム	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 普段の様子や気づきを職員間で共有している</li> <li>• 日々の行動観察を通して状況を把握し、支援に反映している</li> </ul>	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ	10			計画はガイドラインを踏まえて作成していますが、支援内容のさらなる充実と具体化に取り組んでいきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• プログラムについて職員間で意見を出し合っている</li> <li>• 毎月プログラム会議を実施している</li> </ul>	プログラムの立案はチームで行っていますが、より利用者様のニーズに応じた内容となるよう検討を深めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5領域に沿ったプログラムを作成している</li> <li>• 毎月新しいプログラムを取り入れている</li> </ul>	常に新しいプログラムを取り入れ、より利用者様の特性やニーズに応じた内容の充実に取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 支援終了後は、送迎や清掃があるため、翌日に情報共有を行っている</li> <li>• 勤務時間が違うため、難しい面がある</li> </ul>	支援終了後にその日の振り返りを行うことが難しいため、翌日も含めた情報共有の方法を工夫していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日々の記録をケアカルテに入力している</li> </ul>	支援の改善につながるよう今後も記録を継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 定期的にモニタリングを実施し、利用者様の状況や成長に応じた支援目標の見直しを行っている</li> </ul>	より適切な見直しにつながるよう内容の充実に取り組んでいきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組	9	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• おやつの際、利用者様が自分で選択できるようになっている</li> <li>• 自己決定が難しい際は、選択肢を提示している</li> </ul>	今後も自己決定の力を育てられるよう選択の機会を設けていきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	10			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、	7	3		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行事や下校時刻についての共有がなされている</li> </ul>	学校との情報共有を通して、連携を強化していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 同事業所の児童発達支援センターと情報共有を行っている</li> </ul>	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3		児童発達支援センターとの連携を強化し、必要に応じて助言を受ける機会を設けていきます。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	4	・法人内の他の放課後等デイサービスとの交流会を行っている	交流の機会を更に増やしていきたいと思えます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	10			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・年2回の面談を通して共有を行っている	送迎時等も含め日常的な情報共有の充実に取り組んでいきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		・今年度は6回ペアレントトレーニングを実施している	実施はしていますが、より多くの保護者が参加しやすいよう内容や周知方法を工夫していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・定期的に保護者との面談を行っている ・面談を行い、ニーズに合わせた支援方法や助言を行っている	面談等は実施していますが、日常的な相談対応の充実に取り組んでいきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等による	7	3		交流の機会は設けていますが、保護者同士の交流の充実や、きょうだい同士の交流機会について検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによる	10		・月に2回、ブログを更新している	SNSの活用など、より分かりやすく伝わるよう工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・視覚支援や分かりやすい声掛けにより意思疎通を図っている	個々の特性に応じたより分かりやすい伝達方法の工夫に取り組んでいきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		・しらとりまつりを実施し、地域の方々を招待している ・しらとりまつりやハイアンデイサービスでの太鼓発表を行っている	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	10			マニュアルの周知に取り組んでいきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え	10		・防災訓練を毎月行っている	引き続き、訓練の実施と周知を継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認	8	2	・研修を行っている ・服薬調査書などを提出してもらっている	てんかん発作等を含めた対応について、職員間での共有や周知の徹底に取り組んでいきます。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	10		・毎月、会議で共有されている	内容を支援に活かし、再発防止につなげていけるよう取り組んでいきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	10		・虐待防止研修を実施している ・虐待について毎月の会議で支援の振り返りを行っている	日々の支援に活かせるよう継続的な意識向上に取り組んでいきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	10			